

# とうきょう すくわくプログラム活動報告書

園名	キッズガーデンかわせみ
日時	R7年7月4日(金)
クラス名(年齢)	もも組 0歳児

## 1. 活動テーマ

<テーマ>

様々な音に触れる

<テーマ設定理由>

日々の保育の中で歌声や音の出るおもちゃに興味を持つ姿が見られた為

## 2. 活動スケジュール

午前中の30分程度、室内にて行う

## 3. 活動のために準備した素材や道具、環境の設定




ビニール袋、ポリ袋、鈴、タンバリン、空き缶、新聞紙、

## 4. 探究活動の実践

<活動内容>

- ① タンバリン、鈴、空き缶を出し、目の前で音を出してみる
- ② 実際に触れる、音を出す機会を作っていく
- ③ 歌に合わせて音を出し楽しむ
- ④ ビニール袋に空気を入れて感触や音を楽しむ
- ⑤ 新聞紙を丸めて楽しむ

<活動中の子どもの姿・声、子ども同士や保育者との関わり>

子どもの姿・声	写真
<ul style="list-style-type: none"> <li>・タンバリンや鈴を出すと、興味を持ち見つめる子触れてみようとする姿が見られる</li> <li>・実際に触れたり大人の動きを真似して音を出し楽しんでいた</li> <li>・楽器の音だけでなく、歌を歌いながらリズムに合わせて楽器をたたくと、より興味を持ち触れに来るようになった</li> <li>・歌に合わせて、声をあげたり笑顔になるなど楽しむ姿が見られた</li> <li>・ビニール袋では、全身を使って叩いたり体をぶつけにいき音や感触を楽しんでいた</li> <li>・新聞紙はつまんだり握ったり、持ち歩くなどしながら触れて楽しんでいたが音を出すまでには至らず終わってしまった</li> </ul>	  

## 5. 振り返り

<振り返りによって得た保育者の気づき>

- ・タンバリンや鈴など普段なかなか聴かない音だったので興味はすぐに持つことができていた。音の大きさに関心を持ち自ら叩いたり触れていたため、より音を楽しめるよう一緒に音をだした
- ・楽器の音だけでなく、歌を歌ったことで楽しい雰囲気の中活動ができた
- ・大きな音、小さな音など強弱を表現したらより楽しめたように感じた

# とうきょう すくわくプログラム活動報告書

園名	キッズガーデンかわせみ
日時	R7年8月6日(水)
クラス名(年齢)	もも組 0歳児

## 1. 活動テーマ

<テーマ>

音を出して楽しむ(様々な音に触れる)

<テーマ設定理由>

前回の取り組みで、様々な音に触れ楽しむことができたので、さらに自分の動きで音が出ることへの面白さが感じられるようにしたいと思った。

## 2. 活動スケジュール

午前中の30分程度、室内にて行う

## 3. 活動のために準備した素材や道具、環境の設定




空き缶、空き箱、手首や足首につけられるようにした鈴入りの空容器  
ラップの芯

## 4. 探究活動の実践

<活動内容>

- ① 高月齢児は、空き缶や空き箱をたたいて音を出して楽しむ
- ② 保育者と一緒に歌や音楽に合わせて音を出してみる
- ③ 低月齢児は、手足に付けた鈴が、手足を動かすことで音が出ることに気づく
- ④ たたき方(強弱やたたくものの違い)で音が変わることに気づく
- ⑤ 様々な音に触れ楽しむ

<活動中の子どもの姿・声、子ども同士や保育者との関わり>

子どもの姿・声	写真
<ul style="list-style-type: none"> <li>• 手や足に手作りのマラカスをつけたことで、低月齢児も簡単に音を出すことができていた。また、手足を動かすことで音が出ることに気づき、積極的に手足を動かす姿も見られた。</li> <li>• 空き缶や空き箱は、ラップの芯のような棒状のものを用意し、保育士がたたいて見せると真似をしてたたいて音を出していた。自分の手でもたたいてみていた。</li> <li>• 歌を歌いながら音を出すと、真似をして音を出し、前回よりも積極的にかかわる姿が見られた。低月齢児は一緒に動かしてあげることで、笑顔が見られた。</li> <li>• 歌に合わせて保育者や友達と一緒に音を出すことを楽しみ、笑ったり声を出したりしていた。</li> </ul>	  

## 5. 振り返り

<振り返りによって得た保育者の気づき>

- 音の出る玩具を出すと、すぐに集まり手首に付けて使い方を見せると月齢の高い子は真似をして腕を振って音を出し、月齢の低い子は偶然音が鳴った事で繰り返し腕を動かし音を出していたので、より楽しめるよう「音が鳴るね！」など声掛けを行った。また歌に合わせて音を出すことでより楽しさを味わい、一緒に空間で同じ遊びを楽しむ様子も見られたので引き続き、リズム遊びを取り入れ子どもたちの思いに共感しながら活動を進めていきたい

# とうきょう すくわくプログラム活動報告書

園名	キッズガーデンかわせみ
日時	R7年9月30日(火)
クラス名(年齢)	もも組 0歳児

## 1. 活動テーマ

<テーマ>

わらべうたを楽しむ(保育者の声)

<テーマ設定理由>

- ・子どもと保育者が触れ合いながらメロディーやリズムを楽しみたいと感じたため
- ・歌詞が短く、繰り返しが多く、0歳児には特に取り入れやすいと感じたため

## 2. 活動スケジュール

午前中の30分程度、室内にて行う

## 3. 活動のために準備した素材や道具、環境の設定

オーガンジーの布

## 4. 探究活動の実践

<活動内容>

- ① 布を使ったわらべうた  
にぎりばっちり、上から下からおおかせこい
- ② ふれあいわらべうた  
いっぽんばしこちょこちょ、うまはとしとし、ちょちちょあわわ
- ③ 布にのせて揺らすわらべうた  
えんやらもものき

## <活動中の子どもの姿・声、子ども同士や保育者との関わり>

子どもの姿・声	写真
<ul style="list-style-type: none"> <li>・オーガンジーの布を出すとすぐに興味を示し触れてみようとする姿が見られる</li> <li>・高月齢児はにぎりばっちりの歌に合わせて布が出てくると驚き、2回目以降は笑顔を見せたり、期待感をもって保育士の手を見ていた</li> <li>・低月齢児は布が隠れている状態では見ることはなく、手が開いて布が出てくると見ていた</li> <li>・自分でやってみようとする姿はまだなかった</li> <li>・触れ合いわらべうたは他児を押して、自分もやってほしいことを表現する</li> <li>・低月齢児は寝転がって行うほうが保育者の表情なども見れるからか反応が良かった</li> <li>・待っている子が寝転がってやってもらっている他児の近くに来て触ろうとすることもあった</li> <li>・笑顔だけでなく「きゃっきゃ」と笑い声が聞こえる場面もあった</li> <li>・「えんやらもものき」はやってほしい子たちがタオルの上に次々に乗る。やりたい子は何度もできるようにした。やっている間は笑顔を見せる子もいれば固まったり、緊張する子もいた</li> </ul>	

## 5. 振り返り

<振り返りによって得た保育者の気づき>

- ・月齢の低い子は布を使ったわらべ歌では布を追視して楽しむことがまだ難しく保育者の顔をじっと見ていたが、「うまはとしとし」など布を使わない触れ合い遊びのわらべ歌が始まると笑顔を見せたり、手足を動かすなど保育者の歌を聴きながら心地よさそうに参加していることに気づいた
- ・布を使った遊びでは順番を待つ時間もあったが、わらべ歌を歌う保育者の声に心地よさを感じるよう体を揺らしたり楽しんでた。また初めてのことが苦手な子も他の子がやっているのを見ることで興味を示しやってみようとしていた。今後も個々のペースに合わせてながら興味を持てるように工夫し、楽しめるようにしていきたい

## とうきょう すくわくプログラム活動報告書

園名	キッズガーデンかわせみ
日時	R7年11月26日(水)
クラス名(年齢)	もも組 0歳児

### 1. 活動テーマ

<テーマ>

楽器に触れ、音を出して楽しむ

<テーマ設定理由>

自分で楽器を鳴らして音が出る楽しさを味わうため。日々の保育の中で歌に合わせて体を動かすことを楽しんでいるため、歌に乗せて音を出すことで表現活動を更に楽しんで欲しいと感じた為

### 2. 活動スケジュール

午前中の15分程度、室内にて行う

### 3. 活動のために準備した素材や道具、環境の設定





鈴、タンバリン、空き缶、どんぐりマラカス、音楽(CD等)

### 4. 探究活動の実践

<活動内容>

- ① タンバリン、鈴、マラカスを出し、目の前で音を出してみる
- ② 保育者の動きを見て音に興味を持ち、反応する
- ③ 実際に楽器に触れ、音を出してみる
- ④ 曲に合わせて音を出したり、体を揺らし楽しむ

<活動中の子どもの姿・声、子ども同士や保育者との関わり>

子どもの姿・声	写真
<ul style="list-style-type: none"> <li>・なじみのある楽器を見つけて喜び、楽器を受け取りに来ていた</li> <li>・鈴やタンバリン、たいこのパチ等を渡すと大人の真似をして叩いたり、動かすと音が鳴ること、叩くと音が鳴ることに気づき、繰り返し行い楽しんでいた</li> <li>・曲を流し歌を唄うと、より楽しむようになりリズムに合わせて身体を動かしたり、手をたたいたり保育者を見つめ笑顔になる姿が見られた</li> <li>・曲が終わると、次の曲を楽しみにし、もう1回と言いたげに音の出る場所を指さしたり、あっあっ！と声を出し伝えようとしていた</li> </ul>	   

### 5. 振り返り

<振り返りによって得た保育者の気づき>

- ・楽器にも保育者の歌声にもよく反応し手をたたいたり保育者の真似をして楽器を鳴らしたりと意欲的に楽しめていたので、実際に曲を流してみると、はじめは音のなる方を見つめていたが、保育者が曲に合わせて音を鳴らす姿を見ると、真似をしたり身体を左右に揺らし様子がみられた。
- ・日々の保育の中でもリズム遊びや歌遊びを行っていたことで心地よく今日の活動も楽しむことが出来ていた